

## I 研究の内容

### 1 研究内容について

#### ○授業実践

思考力・判断力・表現力等を育てる言語活動を取り入れる。

「活用力」「学級力」について、各学年の発達段階に合った取り組みをする。

#### ○「やまなしスタンダード」との関連を図りながら、研究を進める。

#### ○児童の実態分析と指導法の改善

山梨県学力把握調査（3，5年），全国学力学習状況調査（6年）の結果分析から，本校児童の実態把握をし，授業づくりの視点や指導法の共通理解を図る。

#### ○学びの基礎となる学習環境づくり

発達段階に応じたノート指導の定着を図る。

より充実した家庭学習，学習習慣の定着をめざし，家庭と連携しながら取り組む。

### 2 研究方法について

・授業実践を通して研究を深める。

・[低学年部会][高学年部会]の2ブロックを基本にして，授業研究を行う。

・ブロックごと1本の授業研究をもつ。

・部会研究の内容を交流し合い，共通理解を持つ。

・一人一実践の取り組みとして，全学年の授業を公開し合う。

### 3 具体的実践

#### (1) 理論研究

「新学習指導要領について」

「言語活動ハンドブック」「子どもたちに豊かな言語環境を」リーフレット

「言語活動の充実・学び合い・算数科に関わって」等 倉田 憲一 指導主事

「山梨市学力向上の取り組みについて」

「家庭学習のすすめ 学びの甲斐善八か条・家庭学習への取り組みについて」

「特別の教科 道徳について」

「子どもと親へのチーム支援とその援助の方法」 講師 S S W 工藤 弥生先生

#### (2) 研究授業

第2学年 算数科 「長さをはかろう」 授業者 廣瀬 明子教諭

指導助言 山梨県義務教育課 小池 孝二 主幹・指導主事

第6学年 社会科 「戦争と人々の暮らし」 授業者 深澤 真人教諭

指導助言 山梨県峡東教育事務所 三森 公仁 指導主事

### (3) 授業実践

第1学年	算数科「どんなけいさんになるのかな」	飯沼 順子教諭
第1学年	国語科「ことばあそび」	山宮 由紀教諭
第1学年	国語科「しらせたいな、見せたいな」	岡村 理恵教諭
第2学年	算数科「ひっ算のしかたを考えよう」	高野恵美子教諭
第3学年	算数科「はしたの大きさの表し方を考えよう」	小椋 恵美教諭
第4学年	算数科「わり算の筆算を考えよう」	岩下 秀人教諭
第5学年	算数科「図形の角を調べよう」 道徳科「手品師」	五十嵐祐太教諭
すみれ学級	自立活動「学校から自宅への道案内をしよう」	川崎 幸江教諭
たんぼぼ学級	算数科「面積」	窪川純一朗教諭

## II 成果と課題

- ◇「やまなしスタンダード」を念頭におき、日々の授業実践を積み重ねた。めあての提示、自力解決、学び合い、振り返り等、探求型の授業の確立と言語活動の充実を図ることを全員で確認しながら研究を進めることで、学習内容の定着をめざすことができた。
- ◇低高学年の2ブロック研究に分かれ、発達段階に応じた言語活動、学び合いの工夫、ワークシート等を用いた学習の積み重ね、家庭学習への取り組み等、系統づけられた。
- ◇自力解決とペア・班学習等、発達段階や内容に応じた有効な学び合いの言語活動を仕組むことができた。発表する側、聞く側の視点、自分の考えを具体物や図、言葉、式等を用いて表現する活動や工夫も見られた。自己の考えを記述するワークシートやノート指導等に工夫が見られ、繰り返し行う中で児童の力がついてきた。
- ◇昨年度作成した「家庭学習の手引き」を全家庭に配布し、今年度も学期1回の「家庭学習強化週間」を設けた。全校児童一斉に家庭学習に取り組むことで、家庭学習の習慣化を図った。保護者や児童からの感想や参考になる内容のノートを紹介することで、児童の意欲向上につながったり、保護者の関心も深まったりした。期間以外でも家庭学習に取り組む児童、質の高い家庭学習に取り組む児童も増えてきた。
- ◆一方で、普段は宿題以外の家庭学習に殆ど取り組まない児童や、内容に課題のある児童も見られる。保護者の協力も得ながら、更に家庭学習の定着を図っていく必要がある。
- ◆学力の向上には、落ち着いた学級の雰囲気・安心して発言できる場、安心して居られる場が大切である。今後も学級経営・学校全体の協力体制を大切にし、教師力を高めつつ、日々の授業、基礎基本の定着を意識しながら「学級力向上」に向けて実践していきたい。
- ◆本校では3年以上が35人以上の単級（その内3・4・5学年はアクティブ加配）である。単元や学習内容により、TT指導を取り入れ、学習形態の工夫を行っているが、個々の児童の見取りを適切に行いどう授業に生かしていくのか、また自力解決や発言の機会の確保、支援を必要とする児童への手だてをどう講じていくのか等に、課題が残る。

## III 成果物

○研究授業学習授業案及び資料 ○授業実践授業案 ○「家庭学習のてびき」  
(研究主任 岡村理恵)